



多賀モリ体操で 元気モリモリ!

「多賀城元気モリモリ体操 (通称：多賀モリ体操)」は、介護・認知症予防のための多賀城のご当地健康体操です。市内の地区集会所やイベントでこの体操を披露しながら啓発活動を行っているのが、「活動的な85歳を目指しましょう」をスローガンに活動している「多賀城市多賀モリ会」です。多賀モリ体操とともに今年設立10周年を迎え、10月24日(火)には記念イベントが開催されました。基調講演のあとに各地区の活動紹介があり、高齢者の健康づくりだけでなく居場所づくりにもつながっていることが紹介されました。



多賀モリ体操の実演では、メンバーのみなさんだけでなく、会場が一体となりました。これまでの活動の成果があらわれたワンシーンでした。

祝10周年!

「モリモリ」が可愛らしくデザインされた会のロゴです!

本邦初公開、多賀モリ体操の「第一体操」を披露! タオルを使って、呼吸を整える整理体操です。



多賀モリ会のみなさん。現在、135名のメンバーがいます。



代表の和泉匡倫まさみちさんは「10年後も20年後も、ますます元気に過ごせるための足がかりとなることを目指しています」と話してくれました。



ヒント from “たがさぼPress”

たがさぼのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介します

詳しくはブログへ

<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

●「そなえるカルタ」で防災意識向上 2017年10月17日(火)掲載
実際の災害で起きた事象をもとに、災害をより具体的に自分ごととしてイメージするツール「そなえるカルタ」。みなさんの地区でも試してみたいはかか?

●手話+エンターテイメント=みんなが楽しい場! 10月26日(木)掲載
一般社団法人手話エンターテイメント発信団oioi(おいおい)は「バリアクラッシュ」を活動理念に据えて、手話コントや手話歌などの発信をしています。

●にゃんとすばらしき地域猫活動 2017年11月9日(木)掲載
特定の飼い主がおらず、地域住民で共同管理している「地域猫」。人も猫も、幸せに暮らせるように仙台と福島の大學生が立ち上がった!

“たがさぼPress”とは?

たがさぼスタッフによるブログ。興味が湧いたらたがさぼPressへ! *ケータイ、スマホからもご覧いただけます。



たがさぼからのお知らせ

たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

3rd season

TAGAJO Future Labo

マイアプローチ
発表会参加者募集!

「地域で何かに取り組みたい!」「特技を地域で活かしたい!」これまで6回にわたって、想いを深めるワークショップや地域づくりの先輩からの学びに取り組み、受講生それぞれの想いをかたちにしてきました。今回は受講生からの発表と、ゲストトークを行います。ゲストは、「タガの柵」の松村正子さん。地域づくりに関心のある方、何かはじめていたいと考えている方、ぜひご参加ください。一歩踏み出すヒントや、新たなつながりが見つかるかもしれません。

日時	2018年1月20日(土) 午後1時30分~午後4時30分
会場	多賀城市市民活動サポートセンター 大会議室
費用	無料
定員	30名(先着順/要事前申込)
申込み	多賀城市市民活動サポートセンター窓口または電話にて
問合せ	022-368-7745 (多賀城市市民活動サポートセンター)



湧き出るアイデアに大人もビックリ!!

中学生の
まちづくり
プロジェクト



第二中学校の3年生が1年生の時から「総合的な学習の時間」の授業で取り組んできた、多賀城や仙台・東京の調査学習。その締めくくりとして、多賀城の活性化プランづくりに取り組んだ「まちづくりNEWプロジェクト」についてご紹介します。

発表会までの道のり

9月6日(水)、多賀城のまちづくりの現状や課題について学ぶ講話を皮切りに、プロジェクトづくりがはじまりました。これまでの調査をもとに着々と進む班があるかと思えば、アイデアは豊富だけどまとまらない班、何度も一から考え直す班などさまざま。今回は、アイデアを膨らませる段階で「タガの柵」の松村正子さんとたがさぽスタッフ2名が授業に参加し、プロジェクトへのアドバイスをを行いました。10月12日(木)に各教室に分かれて行った中間発表のあとは、生徒や先生方、ゲストからのアドバイスをもとにプロジェクトをさらに深掘りしたり、より分かりやすい発表にすべく準備を進めました。

発表会～意表を突くプロジェクトが続々と!

10月30日(月)、「まちづくりNEWプロジェクト」発表会。多賀城でまちづくりや観光に関わっている方々や学区内のみなさんにもゲストとして来ていただき、発表を聞いてもらいました。これまでの授業や中間発表を通して、ある程度プロジェクトの内容は分かっているつもりだったのですが、内容はもちろんのこと、発表の方法も進化を遂げていました。特に、「市外から多賀城に来てもらうには」「多賀城って思いつくものをどのように活かすか」「何とかしなきゃ!」という視点から考えようという意識が高く、それがとても反映されていると感じました。発表を聞いたゲストのみなさんとても驚いていて、「これはすごい」「全く思いつかなかった」「検討したいものもあった」と話していました。

このようなプロジェクトがありました!

例えば

- ✔ 「たがもん」の活用 → LINEスタンプ、「たがもん」のバルーンゲート、Tシャツ・パーカー
- ✔ イベントに「プラスアルファ」の要素を → 前夜祭、「あやめ指数」の発表、若い人向けのブース出展
- ✔ 広報、PR → SNSの活用(特にInstagram)、多賀城に関するアプリや動画の作成
- ✔ 古代米を意識して → スイーツの開発、「米米ランド」建設

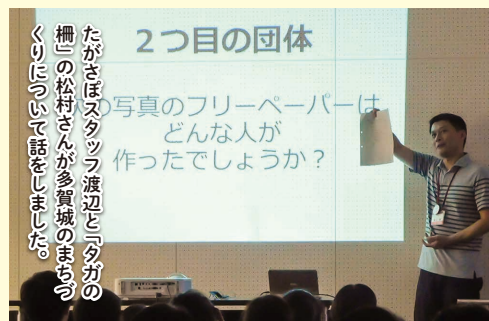
今回生徒のみなさんは、多賀城についてあらためて調べたり考えたりして、新たな魅力を発見できたと思います。また逆に、「たがもん」の大胆な活用や若い世代が来たくなくなるようなイベント企画など、多くの驚きを与えてくれました。授業は終わりましたが、今後さまざまな形で中学生を含めた若者の視点やアイデアが発揮されるチャンスが生まれてくれば、もっと多賀城が盛り上がっていくはず。たがさぽでも、若い世代のみなさんの地域での取り組みを後押ししていきたいです。

生徒の皆さんの感想

- 「今まで知らなかった多賀城の魅力をたくさん発見できました。大事なのは一人ひとりが多賀城について知り、発展のために何が出来るかを考え続けることだと思いました」
- 「『市民が多賀城に興味をなければ観光客が来るはずない』という発表を聞いて、その通りだと思いました。まずは私たち自身が多賀城に興味を持つことが必要だと気づきました」

ゲストからの感想・アドバイス

- 「多賀城をPRする方法や、今あるイベントをさらに盛り上げるアイデアなど、参考になる点が多かった」
- 「古代米でつくるスイーツなど興味深かった。また、これからの多賀城に必要なものをいろいろ考えてもらってよかった」
- 「今回授業で取り組んだことでさらに興味を持ってくれたり、将来多賀城のまちづくりに関わってくれとうれしい」



たがさぽスタッフ渡辺と「タガの柵」の松村さんが多賀城のまちづくりに関して話をしました。



他の班と情報交換の時間。よいところを互いに聞きあいました。



多賀城廃寺跡の活用について考えた班が製作した模型。



プレゼンテーション資料を工夫したり、分かりやすく見せるための模範を用意した班も。

「TGM」= 「TaGaMon(たがもん)」!

「tag」56号
(2017年8月発行)



中学生が考える
多賀城活性化プラン
こちらにも
ご覧ください!



「tag」には、多賀城(tagajo)の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



「たがさぽ」ではツイッターもやっています。フォローお願いします!
@tagasapo



「たがさぽ」ホームページはこちら
http://www.tagasapo.org/